

タチカワレポート

第74期 中間報告

2019年 1月1日

2019年 6月30日



 立川ブラインド工業株式会社

証券コード：7989



家庭に、企業に、都市の中に。
 次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。
 インテリア産業の一翼を担う企業として、
 これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **立川光威**

平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2019年6月30日をもって第74期（2019年1月1日から2019年6月30日まで）上半期が終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当該期間におきましては顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、増収・増益を計上することができました。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年 9月

CONTENTS 目次

経営者から皆様へ	1
営業の概況	2
セグメント別概況	3
当社グループの事業展開	4
New Products	5
Topics	6
連結財務諸表（要旨）	7
営業成績の概要	8
会社の概要	9
株式情報	10
株式についてのご案内	

経営の基本方針

当社グループは、ブラインド類・間仕切類を事業の核とするインテリアメーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、お客様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が見られるものの、消費税引き上げによる消費減退および米中貿易摩擦激化による世界経済の悪化が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、各種政策効果による下支えが続くものの、新設住宅着工戸数は減少傾向となり、原材料価格の値上がりや物流コストの上昇などの要因もあり厳しい環境が続いております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は20,601百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は2,257百万円（前年同期比27.2%増）、経常利益は2,300百万円（前年同期比27.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,443百万円（前年同期比28.7%増）となりました。

業績の見通し

今後の見通しにつきましては、消費税引き上げによる消費減退

や米中貿易摩擦激化による世界経済の悪化が懸念されますが、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましても、個人消費の低迷や住宅着工の見通しなど、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動、リフォーム需要の獲得強化、非住宅市場での拡販および収益力の強化に取り組むことで既存事業領域を深耕していくとともに、ホテル需要や海外市場等、成長分野への取組みを強化することで、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品『パズルタワー』の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

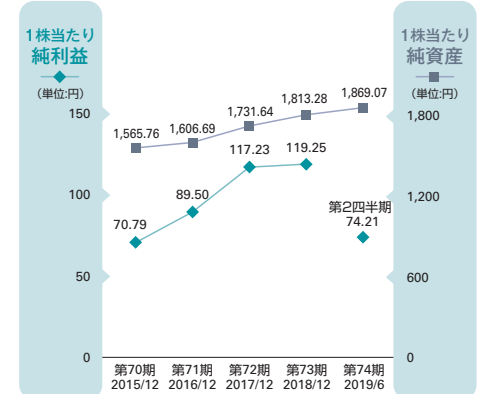
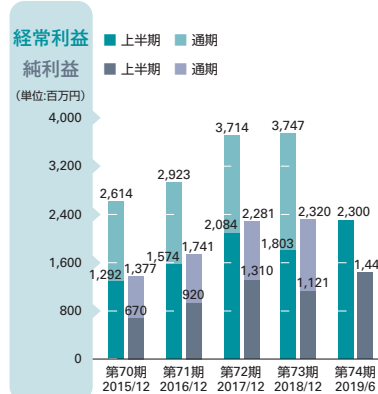
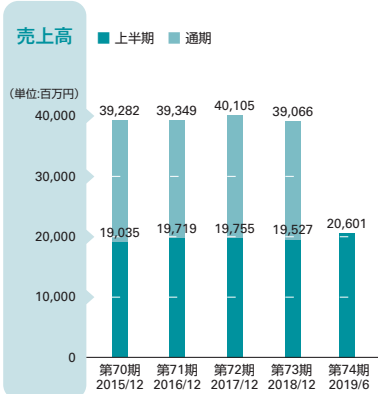
これらを踏まえ、2019年12月期の通期の連結業績予想につきましては、期初の予想の通り、売上高42,200百万円、営業利益4,100百万円、経常利益4,150百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,550百万円を見込んでおります。

中間配当金について

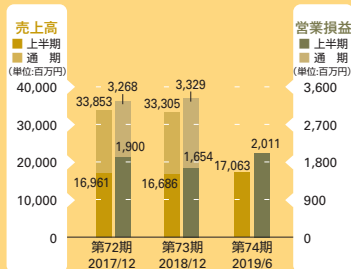
中間配当につきましては、1株につき10円とさせていただきます。なお、利益配分に関する基本方針に基づく年間配当につきましては、内部留保を充実させ将来の事業展開に備えるとともに、企業価値・株主価値を向上させることを目的として、業績に応じた配当を適宜判断し行う予定としております。

Financial Highlights

財務ハイライト



室内 外装品 関連事業



17,063百万円

他社との差別化を図るべく、カスタマイズブラインド全製品の操作方法を、安全性・操作性に優れた「チェーン操作」にリニューアルし、新たに『フォレティアエグゼ チェーン』『フォレティアシェイディ チェーン』『アフタービートエグゼ チェーン』を発売するなど、付加価値と機能性を追求した製品の開発、販売に注力してまいりました。

また、高い遮蔽性を持ち、ワンタッチ操作でブラインドがゆっくりと下降する機能を搭載したヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー』や、光漏れと直射光の侵入を低減したヨコ型ブラインド『シルキーシェイディ』、生地巻き取り部などを隠して直射光を遮る「シールド」を装備したロールスクリーン『ラルクシールド』など、近年発売した付加価値の高い製品を販売の軸とし、市場の拡大を図るとともに、5月より全国において新製品発表会を開催し、新製品の市場浸透にも取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は17,063百万円（前年同期比2.3%増）となり、営業利益につきましては、原材料価格の高騰や、物流コストの上昇があったものの、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、2,011百万円（前年同期比21.6%増）となりました。

82.8%

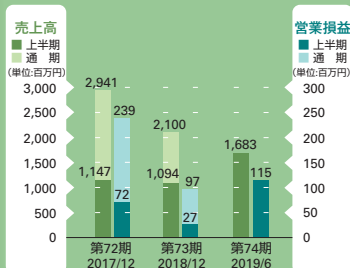
連結セグメント別
売上高構成比
合計
20,601百万円

8.2%

9.0%

駐車場装置関連事業

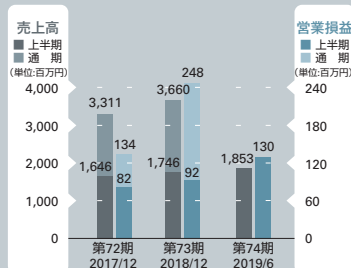
1,683百万円



独自の付加価値提案を積極的に展開し、受注獲得に努めた結果、『スーパーパズル』（大規模地下駐車場）の大型物件を計上したことで、売上高は1,683百万円（前年同期比53.8%増）となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、選別受注と原価低減活動に取り組んだ結果、115百万円（前年同期比322.8%増）となりました。

減速機関連事業

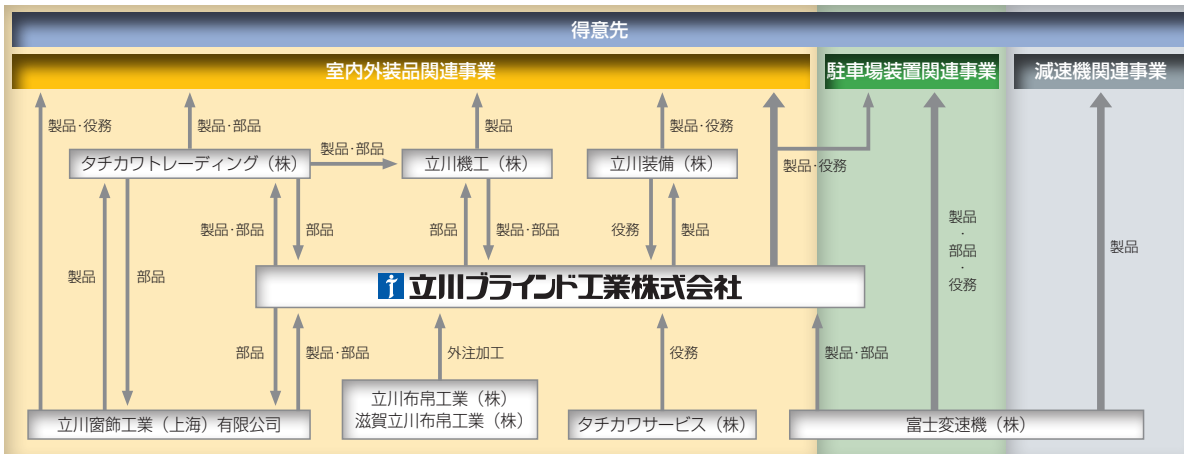
1,853百万円



国内外の設備投資動向が堅調に推移するなか、企業の人手不足を背景に、物流・工場自動化等のニーズが広がり、無人搬送台車駆動用特殊減速機をはじめ、産業用減速機の受注が好調に推移したことにより、売上高は1,853百万円（前年同期比6.2%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動に努めたことで、130百万円（前年同期比40.9%増）となりました。

当社グループ（連結会社）は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

■ 事業の系統図



(注) 富士変速機(株)は名古屋証券取引所に上場しております。

■ 主なグループ会社

立川機工株式会社	立川装備株式会社	富士変速機株式会社
本社所在地：千葉県山武市	本社所在地：東京都渋谷区	本社所在地：岐阜県岐阜市
資本金：3億円	資本金：3億円	資本金：25億750万円
事業内容：ブラインド、間仕切等の部品 およびカーテンレールの製造販売	事業内容：ブラインド、間仕切等の据付 および関連製品の販売	事業内容：変速機、減速機、立体駐車装置 および間仕切の製造販売

■ 中長期的な会社の経営戦略

当社グループでは、厳しい経営環境下においても安定した収益を計上できる事業体制の構築に向け、以下の項目を重点戦略としております。

① 既存事業領域の深耕

当社グループの主要な収益源である室内外装関連事業において、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動に注力し、高性能製品による需要創造やリフォーム市場への取り組みを強化することで、既存事業領域を深耕する。

② 成長分野への取り組み強化

中長期的な国内市場の縮小が見込まれるなか、外国人観光客の増加により活性化しているホテル需要に加え、海外市場など成長分野への取り組みを強化する。

③ 生産体制の強化

減速機関連事業、駐車場装置関連事業においては、生産リードタイムの短縮、工場稼働率の向上を図り、顧客対応力を強化する。

④ 経営資源の整備

将来に亘る安定的な収益基盤の構築およびリスクマネジメント強化を図るため、事業拠点や生産設備といった経営資源を計画的に整備していくとともに、人材育成に注力する。

カスタマイズブラインドがチェーン操作にリニューアル、 「フォレティアエグゼ チェーン」ほか全製品に展開

2019年6月

「フォレティアエグゼ」「フォレティアシェイディ」「アフタービートエグゼ」をはじめとしたカスタマイズブラインド全製品の操作方法を、安全性・操作性に優れた「チェーン操作」にリニューアル。新たに「フォレティアエグゼ チェーン」「フォレティアシェイディ チェーン」「アフタービートエグゼ チェーン」として発売しました。

今回のリニューアルにより、ロールスクリーンやプリーツスクリーンなどのチェーン操作のファブリック製品と統一感のあるデザインにできるほか、磨耗しにくい操作チェーンの採用で、より長くご使用いただけます。

また、小さなお子様のいるご家庭でも安心してご使用いただけるチャイルドセーフティー部品として、お子様の手が届かない高さで操作チェーンを束ねることができるオプションの部品「マルチチェーンハンガー」を新たに発売。付属のフックを壁に固定し、「マルチチェーンハンガー」を掛けることで、壁に掛けたまま操作が可能です。



ロールスクリーン『デュオレ』 生地ラインナップがリニューアル

2019年6月

ロールスクリーン『デュオレ』は、生地を降ろしたままでも採光が可能で、プライバシーを守りながら光の量を調節できる調光ロールスクリーンです。今回、新たに新柄「エコーレ」「ビブラ」「スキエ」の3柄8アイテム、継続柄「クエンテ」「ダンテ」に新色8アイテムを追加し、全6柄27アイテムを取り揃えました。また、製品の高さを最大280cmまで拡大したことで、天井が高く開放感のある大開口の窓にも対応でき、住宅から商業施設まで幅広い用途でご使用いただけます。



ヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー チェーン』発売 「チェーン操作」を採用した新ラインナップ

2019年7月

ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」において、安全性・操作性に優れた「チェーン操作」を新たに採用した『パーフェクトシルキー チェーン』を発売。

「フォレティアエグゼ チェーン」などのカスタマイズブラインドやロールスクリーンなどのチェーン操作のファブリック製品と統一感のあるデザインにできるほか、磨耗しにくい操作チェーンの採用で、より長くご使用いただけます。



装飾カーテンレール『ヒューグライド』『ビレッタグライド』 発売

2019年7月

デザイン・色・質感にこだわった装飾カーテンレール『ヒューグライド』『ビレッタグライド』を発売しました。また、人気の高い一般カーテンレール『ファンティア』をリニューアルする他、カーテンアップセサリーの新アイテムを追加。これまで以上に充実したラインナップにより、お客様の幅広いニーズに対応してまいります。

空調や外からの風によるヨコ型ブラインドの揺れを軽減 『振れ止めコード〈オプション〉』発売

2019年2月

主力製品であるヨコ型ブラインドに、空調や外からの風による製品の揺れを軽減する『振れ止めコード』をオプションとして追加し発売しました。これによって、製品の揺れを抑え、風を心地よく室内に採り入れることが可能となり、より快適な空間をご提案します。

アジア最大の シャッター・ブラインド・門扉展示会 『R+T Asia 2019』 出展

2月27日～3月1日の3日間、中国・上海で開催されたアジア最大級のシャッター・ブラインド・門扉展示会『R+T Asia 2019』に出展。幅広い製品ラインナップを展示し、アジア圏を中心とした多くのインテリア関係者に高い技術力と機能性、高い品質をアピールしました。



ショールームのご案内

G I N Z A

銀座

タチカワショールーム



タチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足頂けるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネート提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。ご相談の予約は下記で承っておりますので、お気軽にお電話下さい。



〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル
TEL (03) 3571-1373
定休日 月曜・祝日(土・日曜除く) 営業時間 10:00～18:00
JR・銀座線新橋駅より徒歩5分 銀座4丁目交差点より徒歩8分

ショールーム一覧

新宿ショールーム	東京都渋谷区代々木2-16-4 タチカワ新宿ビル1F TEL (03) 3375-7071 営業時間 10:00～18:00 定休日 水曜・祝日
札幌ショールーム	北海道札幌市中央区南3条西12-325-3 3F TEL (011) 231-8051 営業時間 10:00～17:00 定休日 土曜・日曜・祝日
仙台ショールーム	宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12 1F TEL (022) 276-1311 営業時間 10:00～17:00 定休日 土曜・日曜・祝日
信越ショールーム	新潟県新潟市東区大形本町1-2-23 TEL (025) 270-8111 営業時間 10:00～17:00 定休日 土曜・日曜・祝日
横浜ショールーム	神奈川県横浜市中区日本大通15 2F TEL (045) 662-0838 営業時間 10:00～17:30 定休日 土曜・日曜・祝日
名古屋ショールーム	愛知県名古屋市中区栄玉3-4-4 3F TEL (052) 532-6085 営業時間 9:00～17:30 定休日 日曜・祝日
金沢ショールーム	石川県金沢市東力4-181 1F TEL (076) 291-1146 営業時間 10:00～17:30 定休日 土曜・日曜・祝日
大阪ショールーム	大阪府大阪市北区中津2-3-5 2F TEL (06) 6374-1813 営業時間 10:00～17:30 定休日 日曜・祝日
高松ショールーム	香川県高松市木太町六区2662-1 1F TEL (087) 837-2720 営業時間 10:00～17:00 定休日 土曜・日曜・祝日
広島ショールーム	広島県広島市南区東雲本町3-1-31 1F TEL (082) 284-1412 営業時間 10:00～17:30 定休日 土曜・日曜・祝日
福岡ショールーム	福岡県福岡市中央区大手門1-4-5 1F TEL (092) 739-0203 営業時間 9:00～17:30 定休日 土曜・日曜・祝日
上海ショールーム	中華人民共和国上海市徐汇区宜山路290号 TEL 0086-21-5396-6803 営業時間 9:00～18:00 定休日 春節

総資産

総資産は54,214百万円で、前連結会計年度末と比較し1,167百万円の増加。

流動資産は36,168百万円で、前連結会計年度末と比較し607百万円の増加。主に、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加したことによるものです。

固定資産は18,045百万円で、前連結会計年度末と比較し560百万円の増加。主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による増加や、投資有価証券の取得による増加によるものです。

負債

負債は13,500百万円で、前連結会計年度末と比較し32百万円の増加。主に、未払法人税等が減少した一方で、未成工事受入金が増加したことによるものです。

純資産

純資産は40,713百万円で、前連結会計年度末と比較し1,134百万円の増加。主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものです。なお、自己資本比率は67.1%と、前連結会計年度末と比較し、0.6ポイントの増加。

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ466百万円減少し、13,660百万円。

【営業活動】

営業活動による資金は、942百万円の増加。税金等調整前四半期純利益2,298百万円に対し、減価償却費357百万円等の増加があった一方で、法人税等の支払額808百万円、売上債権の増加額774百万円、棚卸資産の増加額275百万円等による減少があったことによるものです。

【投資活動】

998百万円の減少。主に、有形固定資産の取得による支出351百万円、無形固定資産の取得による支出155百万円、投資有価証券の取得による支出500百万円等によるものです。

【財務活動】

402百万円の減少。主に、リース債務の返済による支出31百万円、配当金の支払い371百万円等によるものです。

>> 連結貸借対照表

(単位：千円) (単位：百万円)

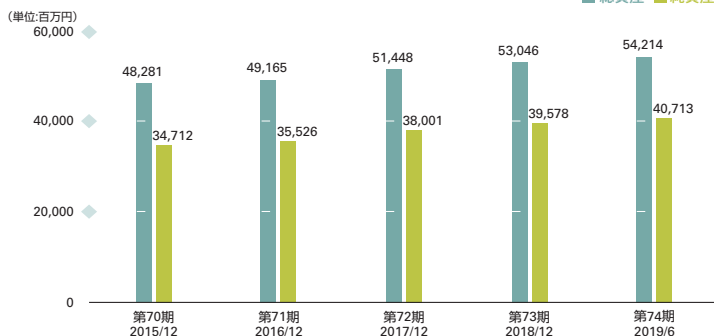
科目	当第2四半期 2019年6月30日現在	前 期 2018年12月31日現在	増減 (△)
資産の部			
流動資産	36,168,352	35,561,024	607
固定資産	18,045,663	17,485,613	560
資産合計	54,214,016	53,046,638	1,167
負債の部			
流動負債	9,855,096	9,768,049	87
固定負債	3,645,611	3,699,695	△ 54
負債合計	13,500,708	13,467,744	32
純資産の部			
株主資本	36,421,329	35,328,102	1,093
資本金	4,475,000	4,475,000	—
資本剰余金	4,395,016	4,395,016	—
利益剰余金	28,222,138	27,128,462	1,093
自己株式	△ 670,825	△ 670,376	△ 0
その他の包括利益累計額	△ 53,160	△ 44,722	△ 8
非支配株主持分	4,345,139	4,295,514	49
純資産合計	40,713,308	39,578,894	1,134
負債・純資産合計	54,214,016	53,046,638	1,167

>> 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	前第2四半期 2018年1月1日から 2018年6月30日まで	前 期 2018年1月1日から 2018年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	942,118	1,169,663	2,954,719
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 998,984	△ 374,111	△ 868,077
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 402,914	△ 255,206	△ 395,364
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6,289	△ 4,643	△ 7,665
現金及び現金同等物の増減額 (△減少額)	△ 466,070	535,702	1,683,612
現金及び現金同等物の期首残高	14,126,105	12,442,493	12,442,493
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	13,660,035	12,978,196	14,126,105

>> 総資産／純資産



>> 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	前第2四半期 2018年1月1日から 2018年6月30日まで	前期 2018年1月1日から 2018年12月31日まで
売上高	20,601,804	19,527,798	39,066,209
(前年同期比)	(5.5%)	(△1.2%)	(△2.6%)
売上原価	11,520,836	10,915,788	21,826,245
売上総利益	9,080,968	8,612,010	17,239,964
販売費及び一般管理費	6,823,286	6,837,302	13,564,171
営業利益	2,257,681	1,774,708	3,675,792
(前年同期比)	(27.2%)	(△13.7%)	(0.9%)
営業外収益	99,254	87,013	213,090
営業外費用	56,933	58,024	141,807
経常利益	2,300,002	1,803,698	3,747,076
特別利益	—	—	1,056
特別損失	1,866	3,194	4,554
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,298,136	1,800,503	3,743,578
法人税、住民税及び事業税	705,195	530,375	1,305,525
法人税等調整額	76,871	107,981	10,250
四半期(当期)純利益	1,516,069	1,162,147	2,427,802
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	72,143	40,528	107,348
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,443,926	1,121,618	2,320,454

>> セグメント情報

(単位：千円)

当第2四半期 2019年1月1日から2019年6月30日まで	室内外装品関連事業	駐車場装置関連事業	減速機関連事業
売上高	17,063,966	1,683,958	1,853,879
(前年同期比)	(+2.3%)	(+53.8%)	(+6.2%)
営業利益	2,011,517	115,726	130,438
(前年同期比)	(+21.6%)	(+322.8%)	(+40.9%)

| 営業成績の概要

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が見られるものの、消費税引き上げによる消費減退および米中貿易摩擦激化による世界経済の悪化が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、各種政策効果による下支えが続くものの、新設住宅着工戸数は減少傾向となり、原材料価格の値上がりや物流コストの上昇などの要因もあり厳しい環境が続いております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低

減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である「パズルタワー」に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は20,601百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は2,257百万円(前年同期比27.2%増)、経常利益は2,300百万円(前年同期比27.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,443百万円(前年同期比28.7%増)となりました。

■ 会社の概要

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	1938（昭和13年）5月
設立	1947（昭和22年）10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業（般-27）第5037号 建具工事業（般-27）第5037号 機械器具設置工事業（般-27）第5037号 建築工事業（特-27）第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話	(03) 5484-6140
ホームページアドレス	https://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,244名 単体800名 ※パート・契約社員等を除く

■ 営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン（横型）ブラインド、 パーチカル（縦型）ブラインド、 天窓用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーディオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

■ 連結会社

国内	
富士変速機株式会社 岐阜県岐阜市中洲町18	タチカワトレーディング株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川機工株式会社 千葉県山武市松ヶ谷口2687	タチカワサービス株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川装備株式会社 東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社 新潟県五泉市今泉709-1	
海外	
滋賀立川布帛工業株式会社 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-1	立川窗飾工業（上海）有限公司 上海市嘉定区葉城路1630号

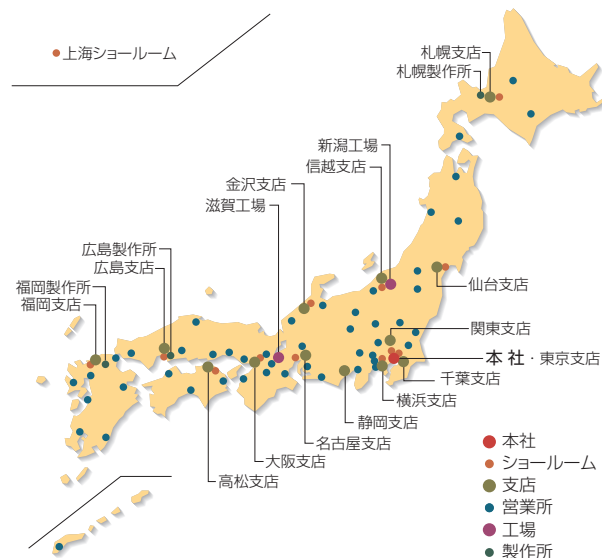
■ 取締役および監査役

代表取締役社長	立川 光 威
常務取締役	竹中 伸 也
取締役	安部田 武 久
取締役	池 崎 久 也
取締役	山 岸 万 人
取締役	小 野 寿 也
取締役	栗 原 育
取締役	前 田 弘 司
取締役	宮 本 實 ※1
常勤監査役	嘉 村 成 人
監査役	高 橋 勇 三 ※2
監査役	杉 原 麗 ※2

(注) ※1 取締役のうち宮本實は社外取締役であります。

※2 監査役のうち高橋勇三および杉原麗の両氏は、社外監査役であります。

■ 当社ネットワーク



■ 株式の状況

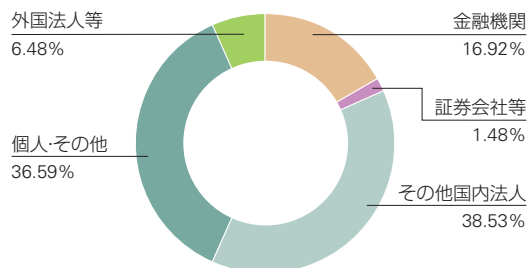
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	5,679名

大株主および持株数（上位10名）

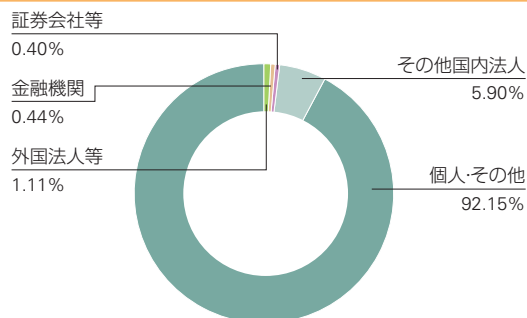
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
有限会社立川恒産	4,117	21.20
タチカワプラインド取引先持株会	1,969	10.14
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.85
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	764	3.94
株式会社三菱UFJ銀行	553	2.85
立川 光威	498	2.56
株式会社りそな銀行	460	2.37
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	437	2.25
日本生命保険相互会社	373	1.92
タチカワ社員持株会	317	1.63

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
 (注) 2. 当社は自己株式1,305千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

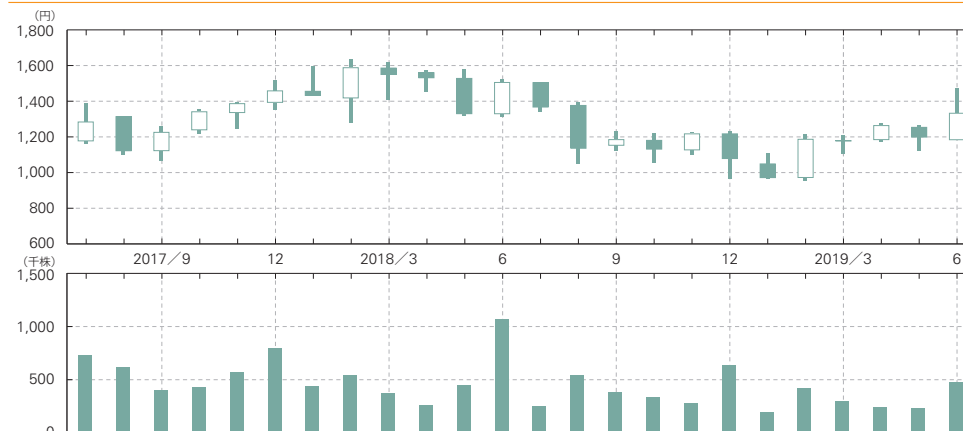
■ 所有者別持株比率



■ 所有者別株主比率



■ 株価および出来高の推移



当社ホームページでは決算短
信などのIR情報や、当社事業
や製品・サービスなどさまざ
まな情報を発信しております。

<https://www.blind.co.jp>



株主優待のご案内



[優待内容] クオカード (イメージ)

① オリジナルクオカードの贈呈 (300株以上保有の株主様)

基準日: 12月末日 (年1回)

所有株式数・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	保有期間	
	3年未満	3年以上
300株以上 500株未満	1,000円分	1,500円分
500株以上 1,000株未満	2,000円分	2,500円分
1,000株以上	3,000円分	4,000円分

② 当社対象製品ご購入優待 (100株以上保有の株主様)

基準日: 6月末日・12月末日 (年2回)

当社製品をご購入いただいた株主の皆様へ所有株式数・購入台数に応じて、以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	当社製品購入1台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
300株以上 500株未満	当社製品購入2台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
500株以上 1,000株未満	当社製品購入3台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
1,000株以上	当社製品購入5台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈

※ 対象株主の方へ所定の申し込みハガキを送付いたします。

事業年度 1月1日～12月31日
定時株主総会 毎年3月
定時株主総会基準日 12月31日
剰余金配当基準日 12月31日 (期末配当)
6月30日 (中間配当)

公告方法 電子公告によります。
公告掲載URL
<http://www.blind.co.jp/koukoku/>
※事故その他のやむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載いた
します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座管理機関 日本証券代行株式会社
単元株式数 100株

登録情報 (ご住所、配当金振込先など) の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行(株)へお問い合わせ下さい。

配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。
また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座管
理機関 日本証券代行(株)へお問い合わせ下さい。

未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行(株) 証券代行部までお問い合わせ下さい。

単元未満株式 (100株未満の株式) の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行(株)へお問い合わせ下さい。

特別口座から一般口座への株式振替のお願い

特別口座管理機関 日本証券代行(株)へお問い合わせ下さい。

注)特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証
券会社に一般口座を開設 (既に開設されている場合不要) し、特別口座から一般
口座へ振替申請を行って下さい。

>> 郵便物送付先・お問い合わせ先

株主名簿管理人	特別口座管理機関
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル) ホームページアドレス https://www.tr.mufj.jp/daikou/	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎ 0120-707-843 (フリーダイヤル) ホームページアドレス https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html